

どう向き合う伊方原発と

～再稼働しないことが最善の策～



あさ くら ひで やす
朝倉 秀康

市民クラブ

質

チェルノブイリ原発事故から30年、60万人の人が事故処理に携わり、33万人の人は避難したままだという。福島原発も12万人が避難し、いまだ帰れないという。

こうした中、熊本地震により、各活断層が連動し活発な活動を続けている。この中で日本最大の中央構造線活断層が別府、四国、関西へと走り抜けていて、この線上近くに伊方原発がある。

本年7月には再稼働を行うと発表しているが、市長はどのように受け止めているか。

答
市長

伊方原発3号機の再稼働は、平成27年10月に伊方町及び愛媛県が再稼働に同意し、四国電力は再稼働に必要な安全対策工事を完了し、原子力規制委員会の検



写真提供：伊方町より

査を受け、本年7月の再稼働を目指しているといわれています。

たとえ原子力規制委員会や愛媛県の定めた厳しい基準をクリアしても、それは想定の中の話であり、自然を相手にする以上、想定外の事故が起こることは、

質

全面通行止めが長期間続いている市道牛首線は、旧道もふさがれ、沿線住民は不便を強いられている。工事中断時は旧道を通しては。

答
建設課長

本年度工事予定付近の旧道部分は、落石が

あり大変危険で、工事中断期間も全面通行止めとしています。

本年度、旧道への取りつけ工事を行い、県道57号へのアクセスができるようになります。

来年度の工事期間中は通行止めですが、それ以降の工事は旧道から離れるバイパス工事のため、旧道の通行が可能となります。

どうなっている牛首線

く落石あり、危険な状態く

東日本大震災や今回の熊本地震、特に福島原子力発電所から多くのことを学んでおり、伊方原発の再稼働により、もしものことがあった場合、看過できないレベルの放射能で覆われ、

重大な影響が及ぶものと考えます。

私としては、市民や未来を担う子どもたちのために、伊方原発は再稼働をしないことが最善の策であると考えます。

第4回議会報告会を開催



新たに
4つの振興協議会で
報告会を開催



第4回議会報告会の概要

12会場で実施

[第1部]

- ・議会報告
- ・委員会報告

[第2部] 意見交換テーマ

- ・若者が住みやすいまちづくり
- ・高齢者福祉について
～住みなれたまちで安心して暮らしていくために～
- ・観光振興について
- ・市政全般

開催日時	開催場所	人数	開催日時	開催場所	人数
5月9日(月)午後7時～	緒方公民館	13人	5月13日(金)午後7時～	旧長谷幼稚園	36人
5月10日(火)午後7時～	千歳支所	16人	5月14日(土)午後7時～	上緒方ふれあいセンター	12人
5月10日(火)午後7時～	神楽会館	14人	5月14日(土)午後7時～	隣保館	11人
5月11日(水)午後7時～	犬飼公民館	11人	5月15日(日)午後2時～	市役所	11人
5月11日(水)午後7時～	長谷川集会所	17人	5月15日(日)午後7時～	市役所	12人
5月12日(木)午後2時～	白山自治会館	24人	5月17日(火)午後7時～	朝地公民館	21人

12会場で延べ198人が参加

第4回議会報告会を12会場で開催しました。引き続き、7町で開催するとともに、4つの地域振興協議会を対象に開催し、より身近な旧小学校区単位で地域に出向いたことで、より多くの市民の皆さま、延べ198人の方々が参加され、質疑や意見交換が行われました。

今回の議会報告会では、各常任委員会から1つずつ意見交換のテーマを設定し、実施しました。また、今回で議会報告会は4回目となり、第1回議会報告会からの来場者数の推移を見ると、女性（毎回2割前後の参加率）と若年層の参加が課題として見られます。

